

第59回

貞香書展

2025. 6. 25(水) ~ 7. 6(日)

(7.1(火)は休館日)

国立新美術館 3A 港区六本木

10:00~18:00(入場は17:30まで)

〈入場無料〉 ご高覧いただけると幸いです。

主催・貞香会

名誉会長 赤平泰処
理事長 光谷素仙

後援・毎日新聞社

(一財)毎日書道会
(公社)全日本書道連盟

貞香会事務所

〒135-0007

東京都江東区新大橋
1-5-4-211 根本方

TEL 03(6284)0466

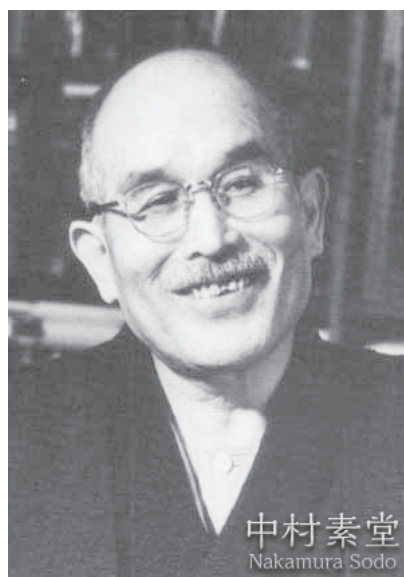
FAX 03(6284)0467

貞香会とは

貞香会は、大正12年（1923）に書文化の研究と、書芸術の創造を目指して中村素堂が創立し、今年で102年目を迎えました。この間、北京・中国美術館（1999・2005年）、台北・国立歴史博物館（1991年）等での海外展も開催してまいりました。毎年、貞香書展・貞香会総合書展を開催し一昨年度は、創立100年記念展を国立新美術館で開催しました。また、毎日書道展、東方書展にも参画しております。

創設者

中村素堂（1901-1982）は、静岡県に生まれ、15歳で西川春洞の高弟・武田霞洞に師事しました。日本書道美術院、毎日書道展、東方書展の創設に参画し、書壇の再建に努めた近代日本を代表する書作家で、歌人でもあります。その書風は硬質の書を信条として、新文人主義、仏教を根底に置いた書を発表してまいりました。大正大学名誉教授で、武蔵大学をはじめ多くの教壇に立ち、後進の育成、書教育の普及にも邁進しました。また、生涯を通じて蒐集した古今の墨蹟・絵画・古写経をはじめとする系統だった書の研究資料は、後進の研究者のために一括して江戸東京博物館に収蔵されています。



第59回貞香書展入賞者

特別賞・審査会員推挙 石山 心茜 渡邊 芳香
推薦・会員推挙 佐藤 瑤音 奥備 愛 佐藤 穂徑 松本 芳琇

公募1部

■特選 星野 玲香 香取 悠柯
■準特選 遠藤 史江 井上かれん 高橋 柳瑛 奥戸 聖斗
■秀作 中村 香風 奈良田圭亮 伊澤 誠優 中野 優音 古口 歩佳
小森谷香奏 ローゼンフェルド冊子 田尾紗奈江 大村 義彰
■高校生奨励賞 松本 千尋 葭葉 香織 永吉 琴葉

公募2部

■特選 小林 典子 岡本さつき 岡田 薫
■準特選 大田 信子 梅澤 恵子 馬場淳一郎 中村 玲香 鈴木 清美
米山 聖
■秀作 山崎 虹心 池上 智子 栗栖 香綾 斎藤 龍生 古瀬須美恵
板垣真知子 遠藤真佐美 高橋英美子 北谷 雅子 永井 泰幸
風間 啓子 山内 好江 長野 力丸
■高校生奨励賞 北村 優奈 池澤 采星 石井和香芭 宮崎 蒼空

第59回貞香書展出品者

名誉会長

審 赤平 泰処〔東京〕 高啓詩

顧問

審 荒木 大樹〔東京〕 商卜文集聯句

審 中村 青藍〔埼玉〕 「豊穰和樂」

審 中村 素岳〔埼玉〕 漱石詩

参与

奥山 泰嶺〔埼玉〕 中尊寺建立供養願文一句

後藤 鶴台〔山形〕 雨曼陀羅華

審 坪内 雪山〔新潟〕 韓翃詩

松本 宜響〔栃木〕 「聲聞」

審 若井 香樹〔東京〕 井上靖詩一節

参事

柏木 南城〔東京〕 「遊戯三昧」

加茂 泰玄〔栃木〕 易經句

審 中村 香柯〔埼玉〕 「寿与山齐福随春至」

審 中村 東泉〔千葉〕 張祜詩

二木 秀蔭〔埼玉〕 宋之問詩

三浦 看山〔神奈川〕 五言二句

山根 紅樹〔東京〕 沈佺期詩

理事長

審 光谷 素仙〔神奈川〕 孔嘉詩

副理事長

鈴木 蓮徑〔栃木〕 「無心是道」
(事務局次長兼任)

審 根本 泰邱〔千葉〕 邵雍句
(事務局次長兼任)

理事

飯野 彩心〔栃木〕 謝靈運詩
(事務局次長兼任)

飯野 柳仙〔埼玉〕 自詠歌

審 今井 泰篁〔東京〕 梁竦句

岩崎 芳穂〔茨城〕 許棠詩

海野 蒼秀〔埼玉〕 謝靈運詩

加地 香泉〔東京〕 杜牧詩

川島 栖園〔埼玉〕 王禹偁詩

審 永井 静軒〔埼玉〕 白洲正子詩

浜瀬 碧水〔東京〕 啓功詩

審 半田 桃香〔静岡〕 僧子賢句

監事

大塚 澄心〔埼玉〕 蘇軾詩

審 長尾 泰邨〔青森〕 讚重偈一節

評議員

審 秋田谷岱空〔千葉〕 佐羽淡齋詩

審 石原 翠山〔東京〕 史蕭句

審査会員

赤尾 真堂〔兵庫〕 蘇軾詩

五野 雪香〔東京〕 「静」

岩田 映洞〔埼玉〕 老子語録

岩渕 響泉〔栃木〕 「微顯闡幽」

上野 泰僊〔埼玉〕 杜甫詩

浦野 西萌〔埼玉〕 王蒙詩

海老原綵翎〔埼玉〕 宗郭祥山詩

小澤 茜逕〔東京〕 「歩々は道場」

亀和田郁芳〔栃木〕 「和神養素」

倉石 芳園〔埼玉〕 許唐詩

後上 菁華〔埼玉〕 陸游詩

小峰 紀州〔千葉〕 白樂天詩

近藤 朗詠〔埼玉〕 謝志発詩

佐藤 光華〔埼玉〕 三好達治詩

佐怒賀昌琴〔埼玉〕 自詠句

杉戸 泰岳〔埼玉〕 白居易詩

鈴木 大嘉〔新潟〕 「慎終」

鈴木 芳草〔埼玉〕 萬夢丹詩

鈴木 玲香〔千葉〕 劉祁詩

高木 素近〔東京〕 寒山詩

高橋 珠翠〔東京〕 伊延高詩

武内 陽華〔埼玉〕 李白詩

富田 青軒〔千葉〕 劉長卿詩

中田 翠苑〔千葉〕 高啓詩

中村 汀華〔埼玉〕 放哉句

林 澄翠〔埼玉〕 黄山谷詩
日向野光苑〔千葉〕 齊藤光悦の歌
平澤 大廣〔栃木〕 戴復古詩
細田 香瑤〔千葉〕 「臨野水看浮雲」
真下 良祐〔千葉〕 和漢朗詠集より菊四首
三上 大岑〔島根〕 「聖皇之迹」
光田 秀穂〔埼玉〕 新川和江詩
矢口 昌華〔千葉〕 杜甫詩
山崎 香彩〔埼玉〕 杜審言詩
渡辺 蒼秀〔神奈川〕 阮籍詩

会員

青木 香路〔東京〕 崔顥詩
池田 紀子〔栃木〕 杜甫詩
石山 心茜〔埼玉〕 蘇東坡詩一節
今井 文子〔栃木〕 臨曼殊院本古今集
上坂 木蘭〔東京〕 梅堯臣詩
大石 碧堂〔静岡〕 崔顥詩
大恵田萌音〔千葉〕 高適詩
金子多恵子〔神奈川〕 李洞詩
鎌倉 蘭徑〔千葉〕 沈佺期詩
北井 杏怜〔東京〕 李白詩
草間 篁山〔新潟〕 吳均詩
佐伯 麗子〔東京〕 佐伯静子の歌 四首
佐藤 観雨〔東京〕 杜牧詩一節
白根 如雪〔東京〕 永井荷風詩の一節
関根 熙雲〔群馬〕 沈簾詩
高橋 桂祉〔埼玉〕 張說詩
富田 希〔長崎〕 祖詠詩
長尾 貫清〔青森〕 羅鄴詩
中島 翠音〔静岡〕 韋莊詩
長瀬 亮一〔東京〕 陳子昂詩
原田 豊蘭〔東京〕 若山牧水の歌三首
藤原 櫻泉〔東京〕 杜甫詩
松田 翠心〔東京〕 柳原白蓮の歌
峯岸 妙観〔東京〕 李白詩
室井 佳鶴〔千葉〕 後撰和歌集巻第五秋上より初秋の歌二首
室田 彩翠〔東京〕 「今だから」(自詠)

横張 瑞泉〔茨城〕 高啓詩
渡邊 芳香〔埼玉〕 王維詩

委嘱

浅野 嘉山〔東京〕 王翰詩
上杉 香莊〔東京〕 山梨稻川詩
牛村ひろみ〔東京〕 杜甫詩
江藤 静蘭〔東京〕 柳宗元詩
大島 翠玲〔東京〕 杜甫詩
奥備 愛〔栃木〕 王維詩
越川 淑泉〔千葉〕 張均詩
佐藤 瑤音〔静岡〕 張說詩
佐藤 穂徑〔栃木〕 孟浩然詩
塩野 洋子〔栃木〕 「曆乍旦己彝」
清水 天悠〔栃木〕 「衆善奉行」
鈴木 英男〔栃木〕 張說詩
関口 恵子〔群馬〕 韓愈詩
田杭 敬心〔千葉〕 李白詩
田辺 由美〔神奈川〕 杜甫詩
土屋 秀樹〔千葉〕 張巡詩
壺井 翠櫻〔東京〕 王維詩
中上 和美〔東京〕 王安石詩
中村 吟有〔千葉〕 古今和歌集より和歌五首
奈良田有亮〔埼玉〕 李白詩
根布谷翠紅〔東京〕 蘇軾詩
野村 佳鈴〔千葉〕 劉長卿詩
萩原 柊花〔千葉〕 嚴武詩
原 翠玉〔神奈川〕 孟浩然詩
飛田 静風〔千葉〕 王績詩
保坂 登志〔栃木〕 「道養神氣」
益本 雪華〔東京〕 哲土の句
松下 彩虹〔東京〕 蘇東坡詞一節
松本 芳琇〔埼玉〕 王越詩
村木 香風〔東京〕 吉田陽子詩
村田 良苑〔千葉〕 李白詩
村山 珠洸〔埼玉〕 杜甫詩
和田 芳華〔栃木〕 臨懸泉置前漢簡
渡辺 萌苑〔東京〕 蘇東坡詞一節

会友

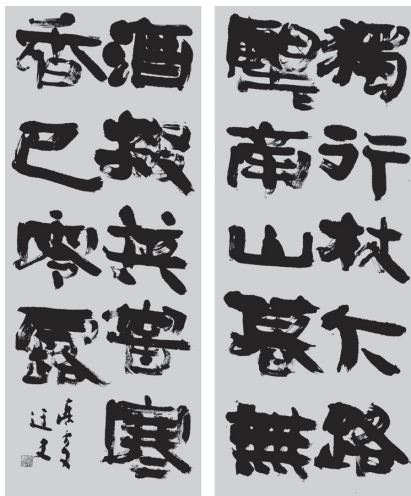
大木 珠芳	〔千葉〕	杜審言詩	
滋野 綾菜	〔栃木〕	文森詩	
長畑 裕子	〔東京〕	孟浩然詩	
中村 香楓	〔埼玉〕	王漁洋詩	
奈良田圭亮	〔千葉〕	王維詩	
広田 瑣葉	〔東京〕	宋之問詩	
星野 玲香	〔東京〕	杜甫詩	
水須 涼華	〔千葉〕	王建詩	
吉村 幸子	〔埼玉〕	王維詩	
ローゼンフェルド 冊子	〔東京〕	中村汀女の句	他四句
渡邊 智香	〔栃木〕	「曠朗無塵」	

公募Ⅰ部出品者

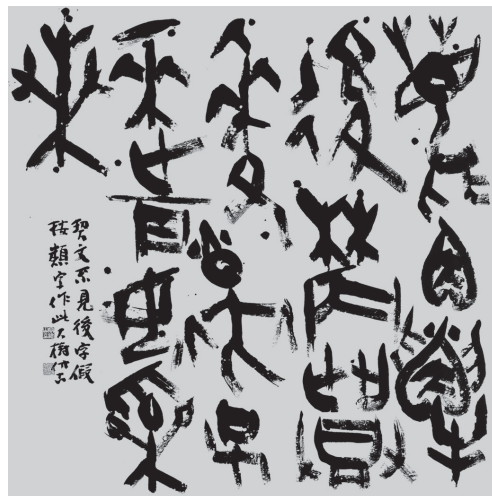
荒井 翔雲	〔東京〕	葉夢得句
伊草かおり	〔埼玉〕	王安石詩
伊澤 誠優	〔栃木〕	文森詩
井上かれん	〔栃木〕	王湾詩
内山 富美	〔静岡〕	杜甫詩
遠藤 史江	〔東京〕	王安石詩
大村 義彰	〔東京〕	日中無常偈
奥戸 聖斗	〔埼玉〕	高啓詩
香取 悠柯	〔東京〕	屈大均詩
椀澤 未宥	〔東京〕	陳子昂詩
小泉 直子	〔神奈川〕	僧英句
古口 歩佳	〔栃木〕	杜甫詩
小森谷香奏	〔埼玉〕	丘濬詩
佐藤 朔夜	〔埼玉〕	李白詩
進藤 靖子	〔神奈川〕	李白詩
田尾紗奈江	〔東京〕	杜甫詩
高橋 柳瑛	〔愛知〕	李白詩
中野 優音	〔栃木〕	陶淵明詩
永吉 琴葉	〔栃木〕	虞世南詩
間瀬 詩音	〔東京〕	吳蘭雪詩
松本 千尋	〔栃木〕	柳宗元詩
葭葉 香織	〔栃木〕	愈德鄰句

公募Ⅱ部出品者

五十嵐来美	〔埼玉〕	臨中国木簡選一節	谷田部修養	〔栃木〕	「慶雲昌光」
池上 智子	〔東京〕	袁宏道句	山内 好江	〔栃木〕	盧綸句
池澤 采星	〔埼玉〕	劉長卿詩	山口 和彦	〔栃木〕	蘇東坡詩
石井和香芭	〔東京〕	「有志者事竟成」	山口嘉代子	〔栃木〕	「薰風細葛涼」
板垣真知子	〔栃木〕	臨源氏物語絵巻	山崎 虹心	〔千葉〕	王維詩
梅澤 恵子	〔東京〕	魏裔介句	山本 和子	〔神奈川〕	錢惟善之句
遠藤真佐美	〔神奈川〕	盛璲句	山本 幸三	〔東京〕	李白詩
大田 信子	〔東京〕	曹遷句	湯本 彩愛	〔埼玉〕	久保田万太郎句
岡田 薫	〔東京〕	臨蘭亭叙	米山 聖	〔神奈川〕	王錫詩
岡本さつき	〔埼玉〕	姚合詩一節			
岡本多美子	〔東京〕	韓中正句			
風間 啓子	〔栃木〕	陸放翁句			
片嶋 常隆	〔栃木〕	「醉花鬼怒堤」			
門脇 花	〔埼玉〕	高啓詩			
北村 優奈	〔埼玉〕	權德輿詩			
北谷 雅子	〔東京〕	「福寿海無量」			
栗栖 香綾	〔千葉〕	于謙詩			
小林 典子	〔埼玉〕	綦母潛詩			
齋藤 節子	〔東京〕	「草木黃落雁南掃」			
斎藤 龍生	〔群馬〕	七言二句			
鈴木 清美	〔千葉〕	王維詩			
鈴木 元子	〔栃木〕	臨源氏物語絵巻			
高橋英美子	〔東京〕	陶潛詩			
高村 雅巳	〔栃木〕	張說詩			
戸崎 勝彦	〔栃木〕	丘為詩			
永井 直子	〔東京〕	鄒炳泰句			
永井 泰幸	〔栃木〕	李白詩			
中澤 勝代	〔栃木〕	「筆精妙入神」			
長野 力丸	〔静岡〕	陸放翁句			
中村 明	〔栃木〕	「義人理情」			
中村 玲香	〔東京〕	司馬遷詩			
西田 咲	〔埼玉〕	薛稷詩			
馬場淳一郎	〔東京〕	李白詩一節			
古瀬須美恵	〔東京〕	王琮句			
前田 珍流	〔東京〕	「心静興長」			
宮崎 蒼空	〔栃木〕	「温故知新」			
武藤 茂子	〔栃木〕	「惠風和暢」			



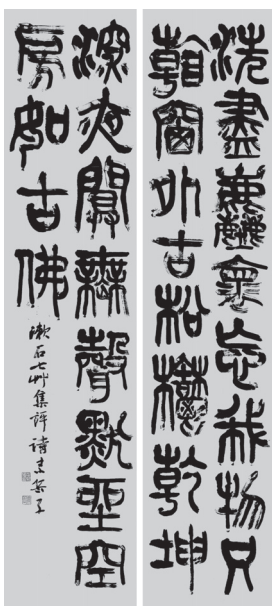
名誉会長 赤平泰処



顧問 荒木大樹



顧問 中村青藍



顧問 中村素岳



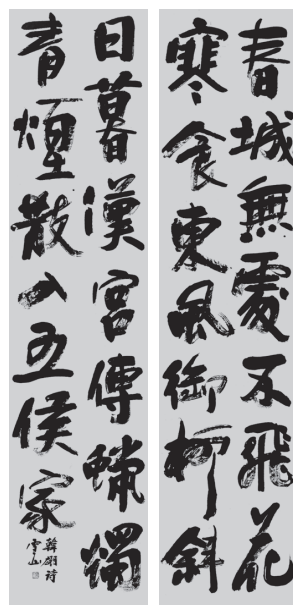
参与 奥山泰嶺



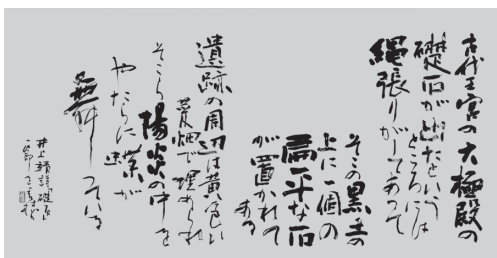
参与 松本宜響



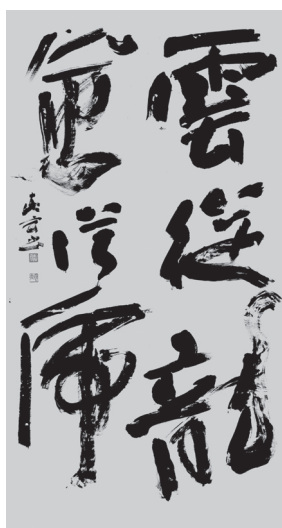
参与 後藤鶴台



参与 坪内雪山



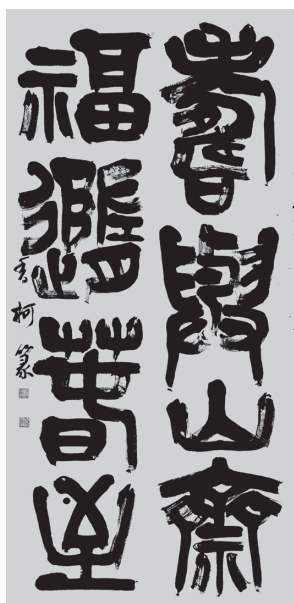
参与 若井香樹



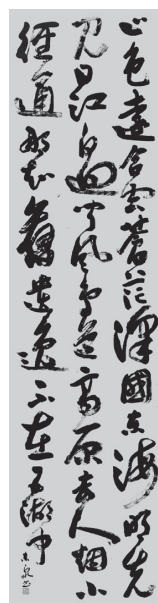
参事 加茂泰玄



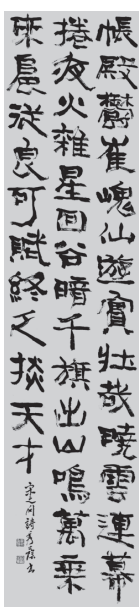
参事 柏木南城



参事 中村香柯



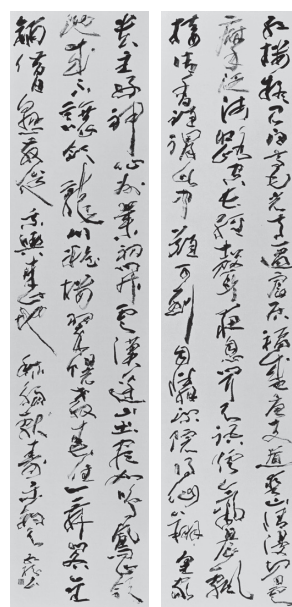
参事 中村東泉



参事 二本秀蔭



参事 三浦看山



参事 山根紅樹

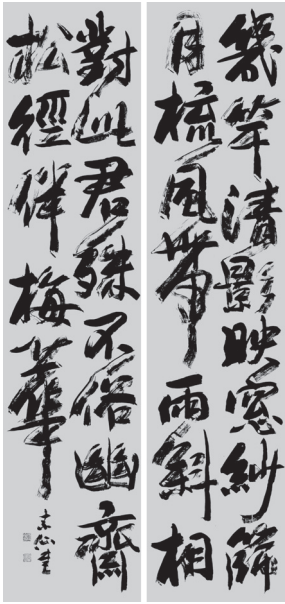
副理事長 鈴木蓮徑



副理事長 根本泰邱



理事長 光谷素仙



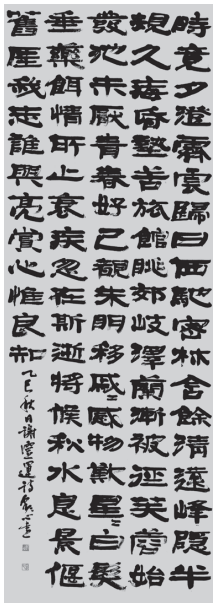
理事 今井泰寛



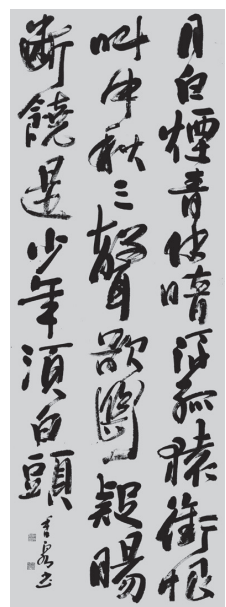
理事 飯野柳杣



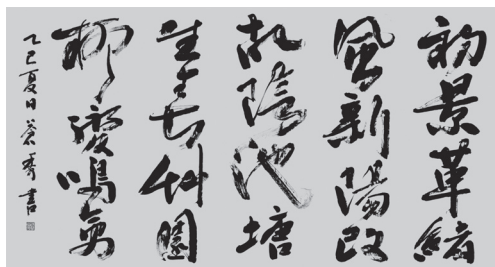
理事 飯野彩心



理事 加地香泉



理事 海野蒼秀



理事 岩崎芳穂



理事 浜瀬碧水

風涼江左有司音折
簡書蟻倍深一自樓

蘭神物現人間天覆
重來禽
啓功先生詩 翠水書

理事 永井静軒

こころに下来るほのか光の中に
浮び出た 観音の姿を
それは今 私は忘れることが出来ない
ゆゑに今に生れ出たという感じに
ゆゑに今に生れ出たという感じに
現れたのであった
白洲右子 壬午觀音巡礼
今秋年賀静軒

理事 川島栖園

馬穿山徑菊初黄
信馬由之野興長篇草
言辭り 金帳簾數何年
後法新陽愛別來
後法新陽愛別來
六餘忽惆悵都橋在
標以美郷
栖園

監事 長尾泰邨

咸慙南天樂

鳴鼓和發音
大塚澄心

監事 大塚澄心

陰晴朝暮幾
思新 屬意
伊在身在也
歸亦好自雲
還似望中人
澄心書

理事 半田桃香

蕉外落華萬點
枝間啼鳥一聲
桃香

評議員 石原翠山 9

碧眼忽開新鏡面
青山都是好屏風
翠山

評議員 秋田谷岱空

人酒今宵何處
論詩書海裏
過頭喧水聲
雨多
紋中衣袂發
初逢書寫
落葉清風
恨無辭靜
可與忘言滿
宿杯最清
夜深時看
皓絲度不
秋田



渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜
渭水自崇秦塞曲黃山舊繞漢宮斜

特別賞・審査員推挙 渡邊芳香

黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船
黑雲翻墨未遮山白雨跳珠亂入船

特別賞・審査員推挙 石山心茜

八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤
八月游仙酒在溪長清風蕩雲澤

推薦・會員推挙 佐藤穂徑

酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人
酌酒與君自寬人

推薦・會員推挙 奧備愛

空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生
空山寂歷道心生

推薦・會員推挙 佐藤瑤音

秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹
秋林無靜樹

公募1部特選 香取悠柯

花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心
花邊高橋傷寒心

公募1部特選 星野玲香

白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息
白髮慈親年餘不知消息

推薦・會員推挙 松本芳瑠

貞香書展

- ◆貞香書展は、会員展と公募展で構成されています。
- ◆公募展には、年齢満15歳（高校生）以上の方どなたでも、第1部・第2部どちらかに出品することができます。
- ◆作品の大きさで第1部・第2部に分かれ、それぞれに、漢字多字数部門（21文字以上）・漢字少字数部門（1～20文字）・仮名部門・詩文書部門があります。
- ◆作品の表装など取扱の全般を指定表具店に依頼しています。



貞香会総合書展

- ◆貞香会総合書展は、会員展と公募「書範展」で構成されています。
- ◆公募「書範展」にはどなたでも出品できます。◇一般部：高校生以上、1人1点 ◇教育部：幼児・小学生・中学生、1人1点 ◇半紙部：どなたでも何点でも
- ◆出品料は次の通りです。◇一般部：14,000円（大学生12,000円・高校生10,000円）※標準軸装代含む ◇教育部：3,500円（※仮巻ベタ貼り表装代含む）◇半紙部：800円（※裏打ち代含む）
- ◆'26貞香会総合書展の会期は2026年1月21日(水)～26日(月)まで。東京都美術館（ロビー階第3展示室・ギャラリーA）で開催します。
- ◆公募「書範展」作品の取扱全般は貞香会書範部が行います。

洗碑会

創設者・中村素堂生誕日の5月2日に東京小石川・伝通院にある中村素堂記念碑(「如是我聞」碑)前で催される先師の遺徳を讃える会です。全国から子弟・関係者が集まり、碑文を前に書作への思いを新たにします。記念碑は、開門時間中はいつでも拝観できますので、お近くにおいでの際はお気軽にお立ち寄りください。

(伝通院 URL：<http://www.denzuin.or.jp>)



講演会

貞香会では貞香書展の会期中に講演会を開催しています。本年度は、出光美術館 学芸部長 上席学芸員 笠嶋忠幸先生をお招きして、「書道文化の古今と未来」という演題でご講演いただきます。



(二〇二四年撮影)

近年の講演会開催実績（※講師の先生方の所属等は、講演当時のものです。）

- 2024年 鍋島稲子先生(台東区立書道博物館長)「呉昌碩と日本人」
- 2023年 小川博章先生(淑徳大学人文学部教授)「全形拓本の様相」
- 2022年 六人部克典先生(東京国立博物館学芸研究部調査研究課東洋室研究員)
「中国書画コレクションの伝統と日本」
- 2019年 恵美千鶴子先生(東京国立博物館百五十年史編纂室長)「平安時代の書の美」
- 2018年 高橋利郎先生(大東文化大学教授)「近代日本の書」
- 2017年 笠嶋忠幸先生(出光美術館学芸課長)「古典鑑賞と書作」
- 2016年 鍋島稲子先生(台東区立書道博物館主任研究員)
「中村不折と書道博物館コレクション」
- 2015年 大西克也先生(東京大学教授)「楚簡・秦簡より見た戦国時代の漢字について」
- 2014年 富田淳先生(東京国立博物館学芸研究部列品管理課長)
「書譜と黄州寒食詩巻—台北故宮博物院の名跡から—」
- 2013年 名児耶明先生(五島美術館学芸部長・東京学芸大学非常勤講師)
「仮名の散らし書きと日本美」
- 2012年 伊藤滋先生(東京学芸大学非常勤講師・岐阜女子大学特別客員教授)
「日本に所蔵される名帖～碑法帖拓本の世界～」
- 2011年 島谷弘幸先生(東京国立博物館副館長)「書の変遷 その必然性と未来」
- 2010年 杉村邦彦先生(京都教育大学名誉教授・書論研究会会長)
「多胡碑の朝鮮・中国への流伝とそれにかかわった人たち」

競書誌『書範』

- ◆貞香会の競書誌で毎月1日に発行されています。創設者中村素堂先生の随筆や、貞香会関係の展覧会情報などが掲載されています。ぜひご一読ください。
- ◆詳細については、貞香会事務所までお問い合わせください。

〒135-0007 東京都江東区新大橋1-5-4-211

TEL：03-6284-0466



展覧会のご案内

令和 7 年(2025)

○第76回 毎日書道展(東京展)

会場：国立新美術館 会期：7月9日(水)～8月3日(日)

※毎週火曜は休館日。毎週水曜は、午後1時開会。

入場は閉会30分前まで

会場：東京都美術館 会期：7月18日(金)～7月24日(木)

※18日は正午開幕、入場は閉会30分前まで。 ※休館日 7月22日(火)

○第39回 西蓮会書展

会場：銀座かねまつホール 会期：10月10日(金)～10月14日(火) 11：00～18：00

○第56回 墨光書展

会場：春日部市民文化会館 会期：10月15日(水)～10月19日(日) 10：00～18：00

令和 8 年(2026)

○'26貞香会総合書展 会員展・書範展

会場：東京都美術館 会期：1月21日(水)～1月26日(月)

書範展にはどなたでも出品できます。詳細は11頁をご覧ください。

本日は第59回貞香書展にご多用中にもかかわらずご光来賜りご懇情をいただき誠にありがとうございました。皆さまのお言葉を励みに会員一同書の道に精進してまいります。

今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところ、御礼とさせていただきます。

令和 7 年 6 月 25 日
第59回貞香書展出品者一同

